

平成24年度

虎姫高等学校 学校評価

本年度の重点目標

知・徳・体の均衡のとれた未来を拓く人材を育成するために、次の4点を推進する。  
 ①学力向上と自学自習を育む学習指導の推進      ②人間力の向上と自主自律を育む教育活動の推進  
 ③個性の伸長と進路保障の取組みの推進          ④家庭や地域との連携による開かれた信頼される学校づくりの推進

領域	重点評価項目	中間評価(10月)	総合評価(3月)	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1 学校経営	本校は生徒や保護者の要望にかなった特色ある学校づくりを推進している。	A	A	A
	H P、オープンH i、報道資料提供、保護者説明会等により積極的に学校情報を発信している。	A	A	A
2 学習指導	教科の学習を大切に、熱心に授業を行っている。	A	A	A
	家庭学習の習慣が確立するよう指導を工夫している。	A	A	A
3 生徒指導	遅刻や服装・頭髮、挨拶の指導など、生徒の基本的な生活習慣が確立するよう指導している。	A	B	A
	交通マナー等、社会規範やルールを守る態度を育てる指導をしている。	A	B	A
	いじめの実態把握に努め、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。		A	
4 進路指導	希望進路実現に向け、教科指導の改善と補習講座の充実に取り組んでいる。	A	A	A
	生徒の希望進路が実現するよう、計画的で丁寧な進路指導を行っている。	A	A	A
5 特別活動等	生徒の実態や学年段階に応じ、ホームルーム活動や学校行事に工夫を加えている。	A	A	A
	部活動を活発に行っている。	A	A	A
6 学校図書館	広報紙の発行や移動図書館等により生徒の読書意欲を高めている。	A	A	B
	教科指導やL H Rなどと連携し、図書館の積極的活用を進めている。	A	A	A
7 保健・安全指導	生徒の事故、怪我、病気等への対応を迅速・適切に行っている。	A	A	A
	生徒が自分の健康を自ら管理する意識を高めるよう日常的に指導している。	A	A	A
8 人権教育	生徒が明るく生き生きと生活できるクラス・学校づくりに努めている。	A	A	A
	統一L H R等により人権教育を組織的・計画的に行っている。	A	A	A
9 環境教育	ゴミの分別収集の徹底と減量化を推進している。	A	A	A
	積極的に環境学習に取り組み、生徒の環境意識を高めている。	B	B	A
10 事務・管理	文書を正確かつ迅速に伝達・処理し、適切に保存している。	A	A	
	施設や設備を整備し、適切に点検整備を行っている。	A	A	B
11 その他 学校の取組み	学校とP T Aとの連携・協力による活動を積極的に行っている。	A	A	A
	高大連携事業で、学ぶことへの意欲と進路選択に向けた意識を高めている。	A	A	A

(注) ・評価表の見方： 6月 学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表  
 10月 中間評価(自己評価)の公表(8月までの教育活動に対する中間評価)A B C Dの4段階評価で示す。  
 3月 総合評価(自己評価・学校関係者評価)の公表(年間の教育活動に対する総合評価)A B C Dの4段階で示す。  
 ・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。  
 ・A B C Dの基準は、肯定的な評価が75%以上をA、50%以上75%までをB、25%以上50%までをC、25%未満をDとする。